

**令和7年度広島県児童虐待防止(オレンジリボン)キャンペーン事業業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年9月4日(木) 13時10分から14時40分まで
2	場 所	オンライン会議(ZOOM)にて実施
3	出席委員	広島市こども未来局こども青少年支援部こども・家庭支援担当課長 公益財団法人ひろしまこども夢財団事業課長 総務局広報課長 健康福祉局こども家庭課長 西部こども家庭センター次長 東部こども家庭センター所長 北部こども家庭センター所長
4	議 題	提案書の審査及び最優秀提案者の決定について
5	担当部署	健康福祉局こども家庭課
6	開催方法	参集(オンライン)
7	議事内容	提出された提案書を基に、プレゼンテーションによる審査を行い、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。 1 提案者(最優秀提案者:◎) A社:株式会社読売連合広告社広島支社 B社:株式会社中国四国博報堂(◎) 2 各委員の主な評価・選定理由 【A社:株式会社読売連合広告社広島支社】 ・事前アンケートの結果を踏まえて、フロー図を作成するなどの具体的な企画提案があった点で評価できる。 ・県全体のバランスを考慮した事業展開となっているが、通告者対象のサイトデザインになっている印象があり、重点ターゲットへのアプローチが不足していると思われる。 【B社:株式会社中国四国博報堂】 ・ターゲットごとの入り口を明確にしている。とりわけ、重点ターゲットに対して行動を促進する仕掛けを重視しており、発信するメッセージ、コンセプトも事業の趣旨に合致している点で評価できる。 ・コンバージョンの設計はよく考えられているが、一方でユーザー目線では相談に到達するまでに手間がかかる印象があり、若年層向けのキャッチコピーについては再考の余地があると考えられる。